

KEF REPORT 2022

年度下期

創ろう、九州新時代
拓こう、アジアの新世紀



KYUSHU



KYUSHU ECONOMIC FORUM.

九州経済フォーラム

KEFレポート 目次

KYUSHU ECONOMIC FORUM.
2022年度下期

01 トップメッセージ

トップメッセージ 九州経済フォーラム 会長 石原 進 氏 2

02 事業報告

○2022年度下期事業一覧 3-5
○主要事業レポート
令和4年度地域間交流懇談会in長崎 6-8
忘年例会 9
服部県知事を囲む新年祝賀会 9

03 寄稿

長崎大学海洋未来イノベーション機構
機構長/教授 征矢野 清 氏 10

04 会員紹介～Origin・原点～

九州経済フォーラム副会長
株式会社タカミヤ 代表取締役会長 高宮 俊諦 氏 11
西日本電信電話株式会社 執行役員 九州支店長 梶原 全裕 氏 . . . 11

05 新規法人会員企業紹介

株式会社タカギ 12
アングス株式会社 13
SPRINK株式会社 14

06 九州経済フォーラム役員一覧 15-16

01 トップメッセージ

日本は人口減少、高齢化、経済の長期停滞、安全保障など多くの課題を抱えている。これらの課題をどう解決すればいいのか。人口減少対策、経済活性化、人材育成の観点から考えてみる。

I. 人口減少対策

日本の人口減少が止まらない。

日本の人口のピークは2010年の12,750万人であったが、2030年11,600万人、2060年には8,600万人になるという。人口減少は経済への影響が大きい。1人が年間125万円を消費するとして、2030年には14兆4千億円、2060年には51兆8千億円の消費の減少がおこる。さらに、ここ数年のコロナの影響もあり、減少額はもっと大きくなる。高齢化や安全保障にどう対応していくのか。人口の減少は国の存亡に関わる重大事である。

岸田内閣は、異次元の対策として「こども家庭庁」設置による省庁タテ割の一元化と、児童手当の拡充、出産費用の保険適用などの支援策を発表した。少子化の原因は経済的問題が大きいというが、結婚年齢の遅れ、将来不安、格差問題、ダイバーシティ（ex. 外国人、女性）など日本社会全体の在りように根差しており、解決には国民全員の覚悟と協力が必要である。



九州経済フォーラム
会長 石原 進

II. 経済活性化

日本の諸課題の解決には経済成長が必須であるが、過去30年間日本のGDPは500兆円台でほとんど伸びていない。GDPの世界シェアは18%あったが、2020年は6%まで落ちている。この間、先進国は平均2倍となっており、日本の凋落が顕著となっている。かつて世界でトップとなった日本経済がここまで落ちてしまった原因を三点挙げてみる。

(1) デジタル化の遅れ・・・生産性が低い。製造業はDXとAIで劇的に変わる。

IMDの「世界デジタル化度ランキング（2020年）」によると米国（1位）、韓国8位（↑2位）、中国16位（↑6位）・・・日本27位（↓4位）であり、日本は毎年他国から追い抜かれている。 ※（ ）内は対前年

(2) 科学技術力の停滞

AI、IoT、5G、6G、GX、量子、ゲノムなど、21世紀は科学技術の時代であり、この面でも日本の停滞が指摘されている。例えば、世界のユニコーン企業数は2022年12月時点で1,200社あるが、1位は米国で648社、2位中国174社、3位インド71社で、日本は15位で6社しかない。また、理系学生数は、日本は文系の1/2と少ないが、中国やインドは理系と文系はほぼ同数である。

(3) 英語力の不足

日本の世界英語力順位は、2011年の14位から2022年は80位となった。デジタル時代は世界が一つにつながる時代。新興国のエリートは英語ができる。

III. 人材育成

いかなる改革にもそれを推進する人材が必要である。21世紀は科学技術の進歩により急速に変化する「答えのない」時代であり、求められる人材育成には以下の四点に留意する必要がある。

(1) 志（自分の国に誇りを持つ）

(2) 英語力（世界がマーケット）

(3) デジタル力（データサイエンス、プログラミングetc.）

(4) STEAM教育（理数系+教養）

合理的判断には限度があり、意見の異なる相手との信頼を築くためにはArts（歴史・文化etc.）の素養が必要

日本の国力は急速に衰えている。GDPの世界順位は2022年3位であるが、今年はドイツとインドに抜かれる見通しだという。人口減少が急速に進む一方で、高齢化率が2025年には30%を超え、医療・介護・年金等の財政負担も増加する。経済力がなければ、社会保障や安全保障の負担に耐えられない。我々は、日本は今まさに存亡の淵に立たされているという認識を持ち、九州そして日本の改革に力を合わせていかなければならない。

九州経済フォーラムでは、以上の日本の課題について、講演会、会員卓話などにより考える場を作っていきたい。

02事業報告～2022年度下期事業一覧～

【10月】令和4年度第2回車座談議・令和4年度第3回理事会（日時：令和4年10月11日(火)）

テーマ『変わる長崎の今』

会場：稚加榮

講師：長崎県副知事 平田 研 氏

参加人数：48名



【12月】忘年例会（日時：令和4年12月15日(木)）

テーマ『グローバル人材の育成に向けて～キッザニアの狙い、そしてその先にあるもの～』

会場：アルマリアン福岡

講師：KCJ GROUP株式会社 名誉会長 住谷 栄之資 氏

参加人数：46名



02事業報告～2022年度下期事業一覧～

【1月】服部県知事を囲む新年祝賀会（日時：令和5年1月31日(火)）

会場：福岡県知事公舎

参加人数：158名



【2月】第7回産学官ダイアログ ※福岡県中経協連合会連携事業（日時：令和5年2月16日(木)）

会場：八仙閣

講師：東明館中学校・高等学校学長 神野 元基 氏

参加人数：58名



02事業報告～2022年度下期事業一覧～

【3月】令和4年度第3回車座談議・令和4年度第4回理事会（日時：令和5年3月17日(金)）

会場：宮前迎賓館灯明殿

講師：非営利株式会社eumo 代表取締役 新井 和宏 氏

参加人数：48名



02事業報告～主要事業レポート～

【11月】令和4年度 地域間交流懇談会in長崎（日時：令和4年11月21日(月)～22日(火)）

会場：出島メッセ長崎(1日目)・長崎県美術館(2日目)

令和4年11月21日・22日の2日間に渡り、九州経済フォーラム主催の地域間交流懇談会in長崎を出島メッセ長崎・長崎県美術館で開催した。

100年に一度と呼ばれるほどの大改革に着手している「長崎」を西九州新幹線開通の時期に合わせて訪問し、交通インフラ、街づくり、地場産業など様々な観点で議論を行った。

オープニングスピーチでは大石長崎県知事に「変わる長崎～100年に一度の変革～」と題し、「街が変わる」「産業が変わる」「時代が変わる、社会が変わる」をテーマに力強くビジョンを発信頂いた。

初日、出島メッセの登壇には西九州新幹線が開業し、長崎駅周辺の大規模開発が行われている最中、開発主体であるJR九州古宮社長、ジャパネットホールディングス高田社長のキーノートスピーチ、長崎大学海洋未来イノベーション機構の征矢野機構長ほか長崎で水産業に携わる皆さまにご参加いただいたパネルディスカッションを開催した。

古宮社長には「新幹線が“九州”を変える」をテーマに九州新幹線開業による通勤・通学など生活の変化、九州外からの交流人口増の効果などを説明いただき、新たな西九州新幹線開業に伴う新幹線停車駅周辺の利便性向上による交流人口・定住人口増などをご講演いただいた。

高田社長からは「民間主導の地域創生へのチャレンジ」をテーマにジャパネットホールディングスが主導する長崎スタジアムシティプロジェクトについてプロジェクトの狙いや施設の様々な仕掛けをご紹介いただき、またジャパネットでの働き方改革による従業員満足度向上の取り組みについてもご講演いただいた。

初日最後は長崎大学海洋未来イノベーション機構の征矢野機構長に「ながさきBLUEエコノミー」の取り組みについてご紹介いただき、生産者の皆さまを交えて「とる漁業から養殖へ」をテーマに未来の水産についてパネルディスカッションを実施いただいた。

夜の交流懇談会には田上長崎市長にご参加いただき、懇談会スピーチ並びに懇談会参加者と変わる長崎について意見交換いただいた。

2日目は長崎県美術館にて平田長崎県副知事のご挨拶に始まり、副知事にもご参加いただいたパネルディスカッションをはじめ、長崎の地で活躍するスタートアップ企業の方、スタートアップを支援する方などにお集まりいただき「社会課題への挑戦フィールドを地方に見出す」「組織や地域を超えたオープンイノベーションエコシステム」「長崎各地の猛者集結～独自性の先にある協働を探る～」「産業構造の転換へ～適応に必要な人材戦略～」4つのテーマごとに白熱した議論を展開した。

<実施風景：1日目>



02事業報告～主要事業レポート～



02事業報告～主要事業レポート～



<実施風景：2日目>



02事業報告～主要事業レポート～

【12月】忘年例会（日時：令和4年12月15日(木)）

テーマ『グローバル人材の育成に向けて～キッザニアの狙い、そしてその先にあるもの』

会場：アルマリアン福岡

講師：KCJ GROUP株式会社 名誉会長 住谷 栄之資 氏

参加人数：46名

日本にKFCやトニーローマ、ハードロックカフェ等のライセンスを取得して展開、そして日本でのキッザニアのライセンスを取得し、キッザニアを開業された住谷名誉会長のグローバルな視点で時代を先読みした、刺激的な経営手腕と半生について触れた。現場の職業体験から得た学びと楽しさ、挑戦から、キッザニアの人材育成のコンセプトとなる。

これからの子供たちにとって、更に必要なことは、グローバル・マインドセット。語学実習よりも「何を言いたいのか？」を考え、スキルよりも信頼を大切にすること。関心と課題意識を持ち、チャンスを見逃さないことだと、住谷会長は仰る。何故なら日本の若者を取り巻く環境として、VUCAの時代の中、将来を悲観する若者が増えていることだ。

未来を担う若者世代の成長のためには、国際交流、社会体験を合言葉にみんなで支えるコミュニティを作り、育成をする必要があると、謙虚なまなざしで仰る。その眼差しとご年齢を重ねられてもなお、次世代のグローバルリーダーを育成のための余念がない。



【1月】服部県知事を囲む新年祝賀会（日時：令和5年1月31日(火)）

会場：福岡県知事公舎

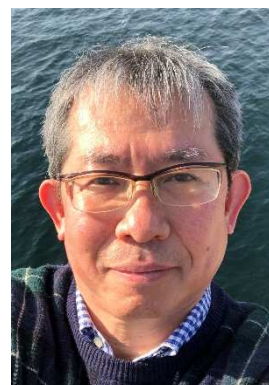
参加人数：158名

新型コロナウイルスの影響により一部厳しい状況は残るものの、経済活動の再開に伴い、持ち直しの動きがみられる。一方、ウクライナ情勢など新たな懸念材料も生じ、不透明な状況が続いているが情勢の変化に伴い昨今の厳しい経済環境を吹き飛ばし、新年における活動開始の場とすることを目的に知事公舎祝賀会を令和2年1月以来、3年ぶりに開催した。



養殖業を中心とした水産業の再生と地域活性化へのチャレンジ

長崎大学海洋未来イノベーション機構
機構長/教授 征矢野 清 氏



水産業は我が国の重要な産業として発展してきました。しかし、魚介類の資源量減少や、温暖化に伴う海洋環境の変動などの影響を強く受け、生産量、生産額ともに減少に一途を辿っており、水産業は非常に厳しい状況におかれています。特に、全国2位の生産量を誇る長崎において、この基幹産業の衰退は、地域の活力低下にもつながる大きな問題です。現在、国では、水産業の再生に向け、「とる漁業」から「養殖業」へと主軸を移し、生産と収入の安定化のための産業体制の改革を目指しています。これは決してとる漁業を無くすということではなく、わたしたちが食べる主要な魚の生産を養殖によって行うという考え方です。養殖はとる漁業と違って計画的に魚を確保することが可能であることから、主要魚を増産し、国内のみではなく海外における販売も計画しています。国産養殖魚の海外輸出の拡大こそが、水産業の再生は不可欠なのです。

長崎においても、養殖業を中心とした地域活性化の動きが加速しています。私たちは、ブリの養殖を柱とした水産業と地域活性化のプロジェクト“「ながさき BLUE エコノミー」海の食料生産を持続させる養殖業産業化共創拠点”事業を国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「共創の場形成支援プログラム」地域共創分野本格型に申請し、令和5年度から10年間の事業として採択を受けました。

この事業では、1）生産者の労働力を軽減するため、IoTやAIなど先端的海洋工学技術を活用した沖合養殖システムの開発、2）環境保全型の養殖を実現するため、ブリの人工種苗生産拠点の形成と低魚粉飼料や新たな魚病対策の実現、3）養殖を中心とした地域活性化に向けて、生産者の経営構造の改革、県産魚の地産地消と観光との連携を見据えた産地マルシェの設立、を進めることとしています。これは産学官連携に加え、市民も交えた地域全体での水産業の構造改革と新たな地域産業の創出を目指す取り組みです。また、水産業を地域の基幹産業として持続させるためには、将来を担う若者の育成と若者の地域への定着も重要な課題と捉えています。

これらの取り組みをご理解いただき、経済界の皆様にも、お力添えをいただきたく願う次第です。

研究室HP: <https://soyano.wixsite.com/fish-reproduction>

次世代養殖戦略会議HP: <https://sea-forum.wixsite.com/nagasaki>

長崎大学共創の場形成支援プログラムCOI-NEXT HP: <https://blueco.ciugc.nagasaki-u.ac.jp/>

座右の銘 「努力」

昨日という日は二度とは来ない、明日という日を待つことなかれ。
今ゆく今をしっかりと励め。



株式会社タカミヤ
代表取締役会長 高宮 俊諦 氏

【夢中になっていること】

戦後、我国がすぐにでもやらなければならない事を実行する為の支援をしていく事。そして、個人的にはゴルフや釣りを通して、体力の向上、そして年齢を超えた体力の限界に挑戦・努力していく事

この言葉は、私の父でもある当社の創業者が、人生及び企業経営を通して、常に心に刻んできた言葉です。現在は弊社の社是となり、小生を含めた全社員の目指す目標となっています。確かに、歴史や偉人・先人から学ぶべきことは数多くあります。同様に目先の利益ではなく、中長期的な視野を持つ事によって、先見性も生まれてきます。

しかし、今やることをしっかり把握し、その目標に向かって最大限努力していく事が、まずは大切ではないでしょうか。そうする事によって、過去の歴史も素直に学ぶ事ができ、枝葉末節ではない根本的な事や目指すべき未来も見えてくるのではないかと考えております。

現在のような、世界・日本の政治や経済、地政学や自然災害等、先の見えない想定外の出来事が勃発する時代を乗り越え、切り拓いていく為にも、重要な思考だと思っています。

座右の銘

『ダンス・ダンス・ダンス』

私が大先輩から学んだ仕事の要諦は「続けること」です。
続くこと・続けることはとても難しい。だからこそ、大いに価値があり重要なんだ、と。
確かに、これまで「続ける難しさ」を実感してきましたし、自分としても、組織としても、誰かと何かを続けていくことができれば、必ずや一定の成果につながっていくと思います。

では、どうすれば続けられるか？
私としては「大いに楽しむ」。楽しければ、自然と続くだろうと考えた次第です。
そこで思い出した言葉が「ダンス・ダンス・ダンス」。
村上春樹さんが1988年に出した本の名前で、私の愛読書の1つです。
文脈はさておきまして、『踊り続けるんだよ』というフレーズが頭に残っており、「楽しく続ける＝踊り続ける」として、私の思いを表現する言葉なのでは、と至った次第です。

2年前に九州に赴任する時から、自分らしい言葉と考え、座右の銘に選んでおります。
皆、キョトンとしていますが。(笑)



西日本電信電話株式会社
執行役員 九州支店長 梶原 全裕 氏

【夢中になっていること】

九州各地へ旅し、ご当地の素晴らしい
食材とお酒を堪能すること

株式会社タカギ



■企業紹介

当社は1961年の会社設立以来、「人の暮らしに快適と潤いを与え社会の発展に貢献する」を経営理念に掲げ、お客様により良いものをご提供したいという思いで、常に挑戦し続けています。

事業としては金型事業、散水事業、浄水器事業と大きく3つを展開しています。金型事業においては、1961年に九州でいち早くプラスチック射出成形用金型の制作を始め、タカギのものづくりの要といえます。自社で金型を製作できるため、タカギのものづくりがスピーディーかつ柔軟に行えることに大きく貢献しております。

散水事業は、1980年に水の出方を5種類に変えられる散水ノズル「ノズルファイブ」を発売して以来、HI（ホームインプルーブメント）商品を通じて、ガーデニングや洗車など人の暮らしに快適・便利をお届けしています。お客様目線での新規提案、また品揃えの豊富さにより、園芸散水用品の販売シェアにおいて国内トップメーカーになりました。

浄水器事業は、浄水器業界で初めて浄水器をハンドシャワー水栓のグリップに内蔵し、これまで存在しなかった蛇口一体型浄水器「みず工房」を開発しました。1999年の発売以来、使いやすさと環境に配慮した機能が認められ、新築マンションでの採用率は業界トップとなりました。会社発展の原動力は社員の力にあります。社員一人ひとりのあふれる「熱意」と優れた「能力」、そして親和の心で結ばれた前向きな「考え方」が原動力となっています。わたしたちはこれからも、お客様の満足に貢献し、更なる発展、夢の実現に挑戦して参ります。

■企業概要

- ・創業 1961年5月
- ・代表者 高城 いづみ
- ・事業内容 家庭用園芸用品、家庭用浄水器 他
- ・従業員数 1449名
(男性699名、女性750名)
- ・本社所在地 福岡県北九州市小倉南区石田南2-4-1
- ・ホームページ <https://www.takagi.co.jp/>

■代表紹介



株式会社タカギ
代表取締役社長 高城 いづみ 氏

全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人の暮らしに快適と潤いを与え社会の発展に貢献する。

社会や価値観の変化が顕在化してきている今、タカギは企業理念体系の中核となる経営理念として、「全社員の物心両面の幸福を追求すること」、「人の暮らしに快適と潤いを与え社会の発展に貢献すること」、この2つの考え方を明確にし、大切な価値観として継承いたします。

アンドス株式会社

■企業紹介

ビジネスの本質は価値と対価の交換であり、全ての企業は商品やサービスという形で何らかの価値提供をしています。私たちは2004年の創業以来約20年に渡り、社会にとって有意義な価値提供をされている企業のマーケティング活動をデジタルを軸として支援して参りました。

アンドスが考えるマーケティングの本質は「熱狂的なファンがひとり生まれる」と定義し、企業の想いを体現するプロダクト企画、届けたいターゲットに伝わるクリエイティブ制作、存在に気づいてもらうプロモーション戦略までをワンストップでサポートしております。

そして、企業のマーケティング支援だけではなく自分たちでも「食」のブランドであるsonomonoを立ち上げ、世界中の人々の「心身の健康」の実現を目指して、日本とアメリカ、シンガポールで販売展開しています。

また、地球環境問題に対する危機から和歌山県田辺市の林業ベンチャー・株式会社ソマノベースに顧問として参画し林業やカーボンニュートラルにも取り組んでいます。

一方で「田舎の風景を未来に遺す」というミッションを掲げ2010年にLOCALISTA（地方人）という任意団体を立ち上げ、現在も活動を継続しています。

■企業概要

- ・創業 2004年6月14日
- ・代表者 前田 哲郎
- ・事業内容 マーケティング支援
- ・従業員数 25名
- ・本社所在地 福岡市中央区警固

・ホームページ

www.andus.co.jp

www.sonomono.jp

<https://somanobase.com>

<https://localista.jp>

■代表紹介

アンドス株式会社 代表取締役
そのもの株式会社 代表取締役
株式会社ソマノベース 事業顧問
LOCALISTA 創設者

前田 哲郎 氏



株式会社SPRINK

■企業紹介

“We Bring the World to You”

既存のビジネスに「世界」を取り入れることで新たな価値を創造する。

SPRINK株式会社は企業がグローバル（地球規模）にビジネスを推進していくための環境・人的ネットワーク・知識を提供する会社です。

特に、海外市場への新規展開を近い将来に考えている企業に寄り添い、最初の一步を踏み出し歩みを進めていくためのパートナーになりたいと願っています。

当社の強みは国内外における他分野に亘るネットワークの広さと深さ、そしてあらゆる状況に対応ができる柔軟性です。また、研修事業も並行することで、経営者はもちろん、働く人々にもグローバルビジネスマインドを浸透させ、企業が自ら新規展開を進めていくための力をつけた状態を目指しています。業態や分野によりニーズは様々ありますが、当社では特に以下の内容を充実させています。

<環境>

海外パートナー候補企業の発掘・マッチング
国外市場におけるビジネス認知（国際展示会、イベント、広報ツール）

<人的ネットワーク>

韓国、香港、欧州を主とした国・地域における連携先紹介
国際学生（留学生や海外経験のある学生）を活用した国際業務支援

<知識>

ESG研修
グローバルビジネスコミュニケーション研修

我々が享受している多くのサービスは今後より一層ボーダーレス化し、地球規模の市場を前提としたビジネスはもはや自然な流れとなってきています。企業の皆さまの誇れる技術、商品、そして文化を効果的に世界に発信するその一步を当社で担わせて頂けたら幸いです。



当社オフィスにて「世界のビジネス習慣」をテーマに対談

■企業概要

- ・創業 令和2年4月
- ・代表者 元 美和
- ・事業内容 海外進出支援事業
- ・従業員数 1名
- ・本社所在地 福岡県福岡市博多区博多駅東2-2-13 博多駅前ビル2階
- ・ホームページ <https://www.sprink-co.com/>

■代表紹介

VISION

国籍や育った文化風習の「違い」をアドバンテージとして、日本に留まらずグローバルに享受されるビジネス展開に貢献したいと願っています。



SPRINK株式会社 CEO 元 美和 氏

ロンドン大学政治経済学院にて国際関係学修士号を取得後、経済団体に入職し国際会議の運営や国際インターンシップなど、様々な海外業務に従事。個々が出会うことで生じる外交関係が平和に繋がると考え、文化や背景の異なる人たちの「出会いの場」の創出をビジネスで実現。



シンガポールにある南洋理工大學（NTU）の学生たちと

06九州経済フォーラム役員一覧

役員

KEF・役職別・五十音順/敬称略(2023.6.14現在)

KEF役職	氏名	所属企業・団体名	役職
会長	石原 進	九州旅客鉄道株式会社	特別顧問
会長代行	貫 正義	九州電力株式会社	相談役
副会長	池内 比呂子	株式会社テクノ・ホールディングス	代表取締役
副会長	礪山 誠二	株式会社九州リースサービス	代表取締役社長
副会長	甲斐 隆博	株式会社肥後銀行	代表取締役会長
副会長	梶原 全裕	西日本電信電話株式会社	執行役員 九州支店長
副会長	小林 専司	(一社)福岡県中小企業経営者協会連合会	会長
副会長	高宮 俊諦	株式会社タカミヤ	代表取締役会長
副会長	田中 亮一郎	第一交通産業株式会社	代表取締役社長
副会長	出口 治明	立命館アジア太平洋大学	学長
副会長	龍造寺 健介	本多機工株式会社	代表取締役社長
常任理事	荒木 知哉	全日本空輸株式会社	福岡支店長
常任理事	梅林 秀伍	梅林建設株式会社	代表取締役社長
常任理事	古賀 正博	(一社)福岡県中小企業経営者協会連合会	事務局長
常任理事	柴田 建哉	株式会社西日本新聞社	代表取締役社長
常任理事	篠崎 和敏	株式会社JTB	執行役員ツーリズム事業本部 九州エリア広域代表
常任理事	白川 敬	TOTO株式会社	代表取締役副社長執行役員
常任理事	鷹見 昭人	トヨタ自動車九州株式会社	コーポレート本部 統括部長
常任理事	富永 泰輔	株式会社福岡運輸ホールディングス	代表取締役社長
常任理事	沼野 良成	西部ガスホールディングス株式会社	常務執行役員
常任理事	根本 浩二	株式会社NTTドコモ	執行役員 九州支社長
常任理事	東 俊明	日産自動車九州株式会社	取締役常務執行役員
常任理事	吉田 泰彦	株式会社福岡銀行	顧問
理事	秋山 哲志	大日本印刷株式会社	情報イノベーション事業部 西日本CXセンター長
理事	泉原 博行	株式会社西日本シティ銀行	常務執行役員
理事	今川 京子	株式会社日本経済新聞社	常務執行役員 西部支社代表
理事	太田 禎郎	株式会社ホテル日航福岡	代表取締役社長
理事	尾崎 真一	三井不動産株式会社	九州支店長
理事	木戸 啓人	九州電力株式会社	執行役員
理事	坂口 光一	(一社)イドビラキ／九州大学	代表理事／名誉教授
理事	佐藤 陽一	株式会社九電工	上席執行役員
理事	繁竹 治顕	(公財)九州国立博物館振興財団	専務理事
理事	白水 ルリ子	(福)宝満福祉会	理事長
理事	筒井 俊英	英進館ホールディングス株式会社	代表取締役社長

06九州経済フォーラム役員一覧

理事	縄田 真澄	(公財)九州経済調査協会	理事長
理事	原 正	(一財)九州オープンイノベーションセンター	常務理事
理事	二又 茂明	久留米運送株式会社	代表取締役 C E O
理事	古宮 洋二	九州旅客鉄道株式会社	代表取締役社長執行役員
理事	松尾 哲吾	松尾建設株式会社	代表取締役社長
理事	森 慎二	西日本鉄道株式会社	執行役員
理事	矢野 健	安全産業株式会社	代表取締役
理事	吉田 茂視	株式会社メモリード	取締役会長
理事	吉村 広志	麻生商事株式会社	専務取締役
理事	脇野 佑一	株式会社ワキノアートファクトリー	会長
常務理事	岡部 知寛	株式会社ティーアンドイー	代表取締役社長
常務理事	後藤 太一	リージョンワークス合同会社	代表社員
常務理事	戸嶋 太一	中央地所株式会社	代表取締役社長
常務理事	中尾 賢一郎	株式会社グランドビジョン	代表取締役
常務理事	増田 成泰	増田石油株式会社	代表取締役社長
常務理事	柳瀬 隆志	嘉穂無線ホールディングス株式会社	代表取締役社長

監事

監事	西川 勲	九州日観植物株式会社	代表取締役会長
監事	柳井 雅人	北九州市立大学	学長

相談役・顧問・名誉会員・参与

相談役	橋田 紘一	株式会社 S U M I D A	代表取締役
相談役	長谷川 裕一	株式会社はせがわ	相談役
顧問	大山 慎介	日本銀行 福岡支店	支店長
顧問	中村 航洋	株式会社日本政策投資銀行 九州支店	支店長
顧問	苗村 公嗣	経済産業省 九州経済産業局	局長
顧問	藤巻 浩之	国土交通省 九州地方整備局	局長
顧問	吉永 隆博	国土交通省 九州運輸局	局長
顧問	渡邊 輝	財務省 福岡財務支局	支局長
名誉会員	大内田 勇成	株式会社ウエストホールディングス 九州支社	最高顧問
名誉会員	廣崎 靖邦	(学)博多学園	顧問
参与	杉本 達哉	宮崎県 福岡事務所	所長
参与	平川 暢教	大分県 福岡事務所	所長
参与	淵脇 拡之	熊本県 福岡事務所	所長
参与	牧元 禎治	鹿児島県 福岡事務所	所長

KEF REPORT 2022

年度下期

KYUSHU ECONOMIC FORUM.
九州経済フォーラム「令和ビジョン」

ひと！感動九州



創ろう、九州新時代。拓こう、アジアの新時代。



KYUSHU ECONOMIC FORUM.

九州経済フォーラム